

ぐたいてき とりくみあん じぎょうしゃむけしさく
具体的な取組案（事業者向け施策）

1 げんじょう
現状

- じょうれいだい7じょう じおよびじぎょうしゃ ごうりてきはいりよ ていきょう ぎむか
条例第7条で、市及び事業者による合理的配慮の提供を義務化している。（東京都
しょうがいしゃさべつかいしょうじょうれい どうよう しょうがいしゃさべつかいしょうほう どりよくぎむ
障害者差別解消条例と同様。障害者差別解消法では努力義務であったが、令和3年
5がつ ほうかいせい ぎむか こうふご3ねんいらい しこう
5月の法改正により義務化された（公布後3年以内に施行）。）

2 かだい
課題

- じぎょうしょ ごうりてきはいりよ ていきょう じぎょうしゃ しゅうち けいはつ はかる じ
事業所による合理的配慮の提供について、事業者へ周知・啓発を図るとともに、事
ぎょうしゃ ごうりてきはいりよ ていきょう かんきょう ととのえる かがだい
業者が合理的配慮を提供しやすい環境を整えることが課題となっている。
- れいわ2ねんどたまししょう しゃせいかつじつたいちようさ しんたいしょう かのた 21.7ぱーせんと
「令和2年度多摩市障がい者生活実態調査」では、身体障がいのある方の21.7%
が「建物・道路などのバリアフリー化」が必要と回答している。具体的には、「道路の段差
かいしょう ほどう せいび ぱーせんと たてものない すろーが えれべーたー せっち
や解消や歩道の整備」が30.5%、「建物内のスロープやエレベーターの設置」（25.4
ぱーせんと たかい
%）と高い。

3 ぐたいてき とりくみあん
具体的な取組案

- じぎょうしゃ ごうりてきはいりよ ていきょう しえん じよせいせいど そうせつ さい
事業者による合理的配慮の提供を支援する助成制度を創設してはどうか。その際、
し じっし さべつかいしょう しょうがிரりかい とりくみ きようりよく じよせいじようけん
市が実施する差別解消・障害理解の取組に協力することを助成条件としてはどうか。

じよせいたいしょう
(助成対象)

じぎょうしゃ じちかい ちいきだんたい しみんかつどうだんたい
事業者、自治会などの地域団体、市民活動団体

じよせいめ に ゆー
(助成メニュー)

- (1) こうじ せこう かんいするーぶ て こうじ せこう
工事の施工 (簡易スロープや手すりなどの工事の施工)
- (2) びひん こうにゆう お しきするーぶ ひつだんぼーど
備品の購入 (折りたたみ式スロープ、筆談ボードなど)
- (3) ぶつびん こうにゆう こみゆにけーしょんぼーど ひつだんぼーど
物品の購入 (コミュニケーションボード、筆談ボードなど)

じよせいじょうけん
(助成条件)

し じっし さべつかいしょう しょうがいりかい とりくみ きょうりよく
市が実施する差別解消・障害理解の取組に協力すること

No	自治体	助成対象	助成メニュー、助成上限額	令和2年度の実績	備考
1	調布市	・民間事業者	①段差解消工事 ⇒助成上限50万円（助成率4/5） ②段差解消備品購入 ⇒助成上限15万円（助成率4/5） ③写真付きメニュー、コミュニケーションボード作成等の 消耗品購入等 ⇒助成上限5万円（助成率10/10）	予算額：900万円 実績額：900万円 補助件数 30件	商工会を通じて実施。 パラリンピック開催 を契機に創設した事 業のため令和3年度 までの時限事業の予 定。
2	白野市	・民間事業者 ・自治会などの 地域団体 ・市民活動団体	①段差解消工事、手すり設置工事、トイレ工事など ⇒助成上限20万円（助成率2/3） ②コミュニケーションボード、筆談ボード、サインの購入など ⇒助成上限3万円（助成率10/10）	予算額：100万円 実績額：5.3万円 補助件数：11件	—
3	兵庫県 明石市	・民間事業者 ・自治会などの 地域団体 ・市民活動団体	①工事の施工（簡易スロープや手すりなどの工事の施工） ⇒助成上限20万円 ②物品の購入（折りたたみ式スロープ、筆談ボードなど） ⇒助成上限10万円 ③コミュニケーションツールの作成 （点字メニュー、チラシの音訳、コミュニケーションボードなど） ⇒助成上限5万円		—

(参考) 他自治体の実施状況